

錯綜している現状システムから有効資産を正しく把握する為に！

レガシーシステム刷新ソリューション「マイグレーション2.0」 ソフトウェア資産棚卸サービス

マイグレーションの導入部で推奨されるソフトウェア資産の棚卸の必要性！

マイグレーションを推進する際、ソフトウェア資産の棚卸により有効資産を正しく把握できれば検討範囲を有効資産の範囲に絞って、無駄な検討コストを排除するとともに、システム構成の特性を把握することが可能になります。

長い年月の中でレガシーシステムには……

新機能の追加に伴い使われなくなっている機能
業務の変更などで使われなくなっている機能が
残存している……

初期のシステムの設計ドキュメントが存在しない
残っている仕様書に追加・修正履歴が反映され
ていない……

レガシーシステムの刷新、
再構築を考えようにも……

そのシステムの正確な規模を
ほとんど把握できていない……

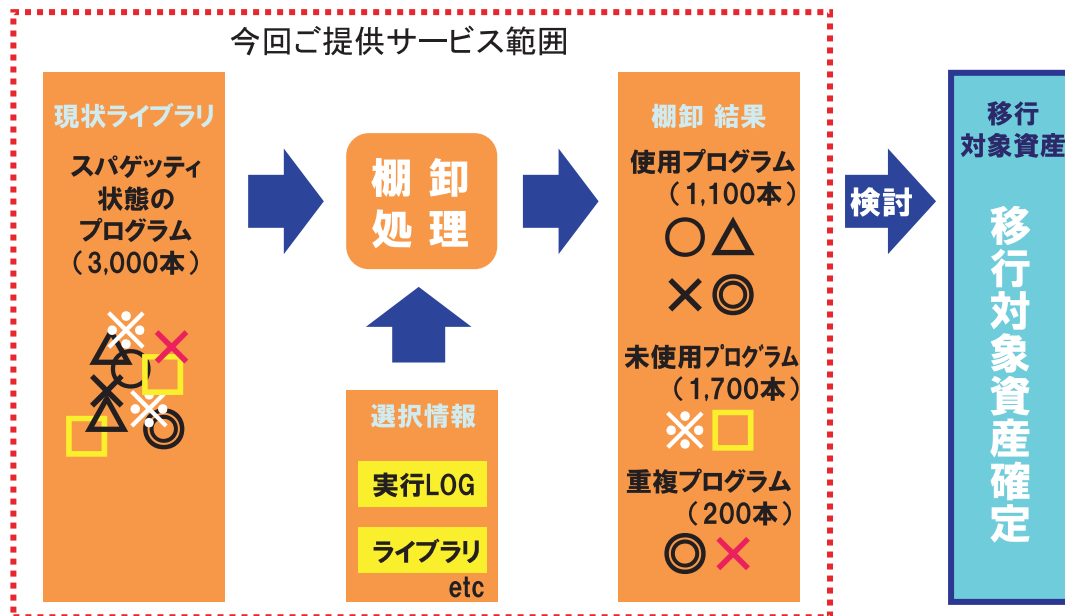
錯綜している現状レガシーシステムの中から”有効資産“を正しく把握するには
「ソフトウェア資産棚卸」からスタートする必要があります。

レガシーシステム内のソフトウェア資産棚卸 実施方法

棚卸実施方法

- ・実行LOGを基に稼働JOBを選択
- ・JCL-LIBを基に対象稼働プログラムを選択
- ・ソース-LIBを基に対象ソースを選択

資産棚卸の仕組み



- レガシーシステム内にあるソフトウェアの全体像の把握を行います。
- ・必要なソフトウェアと不要なソフトウェア資産、利用頻度低いもの、さらに重複登録されているものを整理し、今後の計画立案に必要な情報を取得。

刷新検討範囲の把握

ソフトウェア構成の特性把握

開発保守の効率化

棚卸結果出力(OUTPUT)

現行ライブラリ情報(INPUT)を基に、棚卸結果(OUTPUT)を出力します。
 現行ソフトウェア資産の可視化により再開発・マイグレーション等の対象ソフトウェアを決定することが可能となります。

棚卸結果出力(OUTPUT)

入力(INPUT)

マイグレーションを行う
ソフトウェア資産

お客様に
ご用意頂く情報

実行ログ

JCL-LIB

ソース-LIB

分析

出力(OUTPUT)

ソフトウェア資産の利用状況資料

資産関連図

受領資産一覧表

重複資産一覧表

動的呼出一覧表

内部リーダー起動一覧表

使用ユーティリティ一覧表

不足資産一覧表

未使用資産一覧表

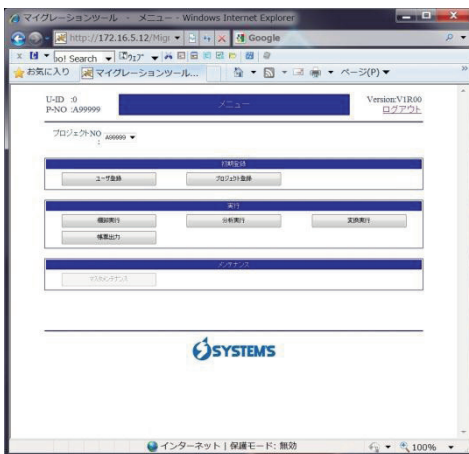
起点情報一覧表

【注意事項】

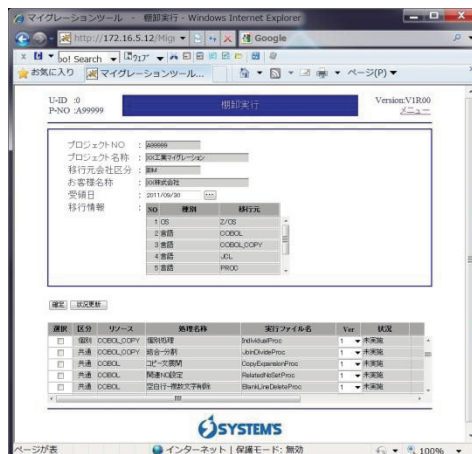
1. プログラム名：メンバー名(ファイル名)とプログラムIDが一致しているとは限りません。
2. 動的呼出し：プログラムを呼出す際に変数などを使用して呼出しているケースがあります。
3. 内部リーダー起動：プログラム内で、JCLを作成して、その作成したJCLを起動しているケースがあります。

情報システム部門様が、システムの再開発やマイグレーション等の方針決定のために現行のソフトウェア資産を確認できるよう、棚卸(分析)結果を提出、ご報告いたします。システムズでは、マイグレーションにおける**経験・ノウハウ**を活かし**移行対象資産確定**を支援します。

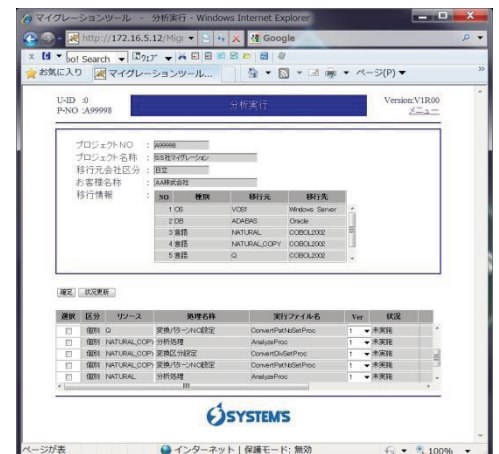
棚卸ツールによる詳細な“棚卸情報”作成



棚卸ツール起動画面例



“棚卸”実行画面例



“分析”実行画面例

[資料請求とお問い合わせ]

株式会社 **システムズ**

マイグレーション事業本部

東京都品川区西五反田7-24-5 日本生命西五反田ビル8F TEL 03-3493-0032 FAX 03-3493-2033
 URL <http://www.migration.jp/> E-mail: migration@systems-inc.co.jp

●本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
 ●本紙に掲載されている内容は、2011年10月現在のものです。また、内容は改善のため予告なく変更することがあります。